



石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 とを大切に**

坂本小だより 令和6年2月号

児童数590名(24クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上畠 憲一】

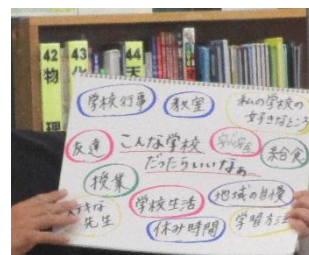
立春を迎え、冬から春へ 『つなぐ』

辛抱の冬を越し、明るい春へ切り替わる「節分」を迎えると、暦の上ではもう春です。寒暖が交互に訪れるも、比較的温かい冬を過ごしていた今年でしたが、先日は厳しい寒波が訪れ、能登の被災地を含む日本海側を中心に大雪をもたらしました。孤立地域をさらに孤立させ、復旧作業に加えての雪下ろしなど、現地の過酷な状況を伝える報道も連日見聞きしました。それでも明けぬ夜はありません。厳しい寒さに凍え大雪の冬を過ごしたからこそその春のありがたさです。いよいよ自然界も学校も新しい季節へ“つなぐ”時期になりました。



一見すると枯れ木のように木々も、よく見るといずれ葉や花になる芽がぎゅっと詰まっている冬芽をつけています。寒さや乾燥から芽を守るために幾重にも重なった鱗のようなものや細かな毛でおおわれているものなど種類はいろいろですが、どれも春に芽吹くために備えています。また、先日のニュースではびわ湖のヨシ刈りの様子も伝えられていました。琵琶湖の水質保全に欠かせないといわれているヨシが、春に芽を出し大きく成長するには冬の間の刈り取りが必要とのこと。これも新たな芽吹きにつなぐための大事な準備です。

さて、学校生活も今年度の大半を過ごし、いつの間にか残り2ヶ月です。今年度をしっかりふり返って、よりよい学校を目指して来年度につないでいかねばなりません。次年度最高学年となって坂本小学校の児童をリードする5年生もそのための準備を進めています。3学期のスタート時には学年集会を開き、「6年生0学期」との位置づけのもと、現6年生から坂本小学校の顔としての役割を引き継ぐための気持ちを高めました。なにより卒業生は、これからの2ヶ月で6年間じっくり育んできたあらゆる姿を在校生達に見せつけ、しっかりつないでくれます。それぞれの学年が春を迎えて新たな芽を出して坂本小の良き伝統が継承されるために…。



次期教育振興基本計画策定のための子どもの意見交流会「こんな学校あればいいな」より



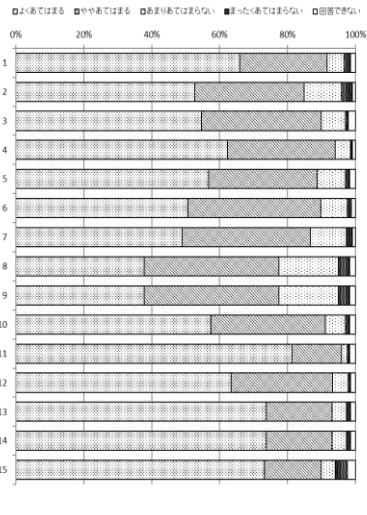
<1月2月の主な学校行事 2/1 現在>

今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。

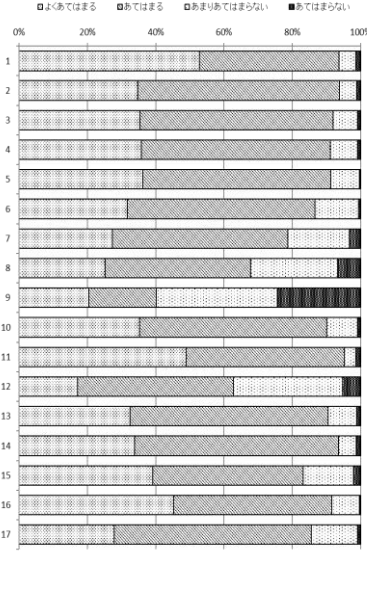


令和5年度 学校評価 (教育アンケート結果より)

児童 (5年生以上)	質問項目	今年度	昨年度
全般	1 学校生活は楽しい。	3.5	3.4
健やかな体	2 体を動かして運動するのが楽しい。	3.3	3.4
	3 けがや病気をしないように、安全や健康に気をつけて生活している。	3.4	3.4
	4 不審人がいたり、地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか知っている。	3.5	3.5
	5 「坂本っ子の学習」(筆箱の中身、定規で線を引くなど)ができる。	3.4	3.5
確かな学力	6 学校の勉強は、よくわかる。	3.4	3.3
	7 友だちと考えを出し合って答えを出す学習は楽しい。	3.3	3.2
	8 自分から進んで宿題や家庭学習をしている。	3.1	3
	9 自分から進んで読書をしている。	2.8	3
豊かな心・社会性	10 道徳の時間には、様々な場面での気持ちを考えたり、友だちの考えを聴いたりして、学習している。	3.4	3.4
	11 学級の友だちと仲良くできている。	3.7	3.7
	12 「あいさつ」や「はきものそろえ」をがんばっている。	3.5	3.5
	13 学校の体験活動は楽しい。	3.6	3.7
学校の対応	14 いじめなどの問題を心配せず、安心して学校生活を送れている。	3.6	3.7
	15 困ったことや心配ごとなどを相談できる人がいる。	3.6	3.5
	平均	3.4	3.4



保護者	質問項目	今年度	昨年度
全般	1 お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	3.5	3.4
健やかな体	2 学校は、体力の向上のための適切な指導、取組をしている。	3.3	3.3
	3 学校は、健康の保持増進のための適切な指導や取組をしている。	3.3	3.3
	4 学校は、事故防止に努め、子どもの安全についての適切な指導や取組をしている。	3.3	3.3
	5 学校は、各教科の基礎的・基本的な内容を習得させている。	3.3	3.3
確かな学力	6 学校は、よく考え、進んで学ぶ力が育つような指導をしている。	3.2	3.2
	7 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	3	3.1
	8 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	2.9	2.9
	9 お子さんは、読書をする習慣が身についている。	2.4	3.2
豊かな心・社会性	10 学校は、道徳教育の充実に向け取り組んでいる。	3.2	3.2
	11 お子さんは、学級の子どもと仲良くできている。	3.4	3.4
	12 お子さんは、家庭や地域でしっかりあいさつをして、はきものをそろえている。	2.8	2.7
	13 学校は、適切な体験活動に取り組んでいる。	3.2	3.2
学校の対応	14 学校は、いじめのない学級、学校づくりに取り組んでいる。	3.3	3.3
	15 学校は、子どものことについて相談しやすい。	3.2	3.2
	16 学校は、学校だよりや各種だより、ホームページでわかりやすく情報発信している。	3.4	3.2
	17 学校は、保護者や地域の願いを教育活動に反映している。	3.1	3.1
	平均	3.2	3.2
	回収率(%)	60	66



上記の結果と自己評価(職員)をもとに、2月に評価委員会を実施します。その後、学校運営協議会で熟議して次年度へつなげていきます。次年度の方針は3月以降に掲載させていただきます。



年末年始にはこんなことがありました



〈坂本大好きの一場面〉 年末が迫った12月、坂本小学校の子ども達と日吉中学校、比叡山中学校の生徒達、そして地域やPTAの方々が、恒例になっている「坂本ふるさと大掃除」に参加しました。予想を上回る400人以上の有志が集まり、日吉大社の参道の落ち葉拾いやゴミ拾いをしました。用意していたゴミ袋が足りなくなって新たに購入に走っていただかなくてはならないほどの成果で、1時間ほどで600を超えるゴミ袋の山ができました。寒い中、たくさんの人が一生懸命掃除に取り組み、坂本のまちがきれいになるとともに、子ども達がいっそう「さかもと大好き」になった一場面でした。

方々のお力添えで、どんどん焼きを続けています(コロナ禍で中断していましたが昨年度から復活)。どんど焼きは地域によって若干異なるところもありますが、1月14日の夜または15日の朝に、刈り取り跡の残る田などに竹や丸太を組んで立て、そこにその年の正月飾り、書き初めで書いた物を持ち寄って焼くという活動です。お正月に注連飾りを目印に家に来ていただいた神様を見送るという意味合いがあり、焼いた後の灰を持ち帰り自宅の周囲にまくとその年の病を除かれるといわれたり、書き初めを焼いた時に高く上がると字が上達するといわれたりしているそうです。それを聞いた子ども達は、書き初め作品を焼いて空に舞い上がった灰を祈るように見つめていました。

〈坂小伝統の一場面〉 子ども達が昔から伝わる伝統的な行事を経験することが少なくなっている中、坂本小学校では、地域の方々のお力添えで、どんど焼きを続けています(コロナ禍で中断していましたが昨年度から復活)。どんど焼きは地域によって若干異なるところもありますが、1月14日の夜または15日の朝に、刈り取り跡の残る田などに竹や丸太を組んで立て、そこにその年の正月飾り、書き初めで書いた物を持ち寄って焼くという活動です。お正月に注連飾りを目印に家に来ていただいた神様を見送るという意味合いがあり、焼いた後の灰を持ち帰り自宅の周囲にまくとその年の病を除かれるといわれたり、書き初めを焼いた時に高く上がると字が上達するといわれたりしているそうです。それを聞いた子ども達は、書き初め作品を焼いて空に舞い上がった灰を祈るように見つめていました。



〈ちはやふる一場面〉 年明けの教室からは毎日のように百人一首の読み手の声が響きわたっています。2月に行われる百人一首大会への出場、そして優勝目指して子ども達が一生懸命です。学年で対抗戦を企画する学年もあり、4年生はクラス対抗百人一首大会を開催していました。子ども達の真剣な表情、そして力強く札を取る姿が素敵でした。担任の先生同士の対戦もあって興味深い場面でした。勝っても負けても、全力を出し切ってやっぱり素晴らしい。

〈全般〉

おおむね楽しく学校で生活できているとの回答は約90%でした。少しずつ行事や活動が本来の形にもどりつつある中で、子どもたちの活躍の場が増え、学校生活を楽しくしていることをうれしく思います。

〈健やかな体〉

体育科の学習内容の充実と共に、児童の主体的な運動イベントの開催やなわとびジャンピングボードのように進んで体を動かせる環境づくりを工夫しながら、体力の維持を目指したいと考えます。

〈確かな学力〉

読書習慣も含め、家庭学習についてのアンケートを実施しながら、学校での学習と家庭学習が結びつくような工夫をし、学びの習慣化を目指しています。また、学校においても、協働的な学びを大事にしながら、個に応じた指導を充実させ、今後も「できた、わかった」を目指して、算数科を中心とした少人数指導や個別指導を大切に、積極的に取り組んでいきたいと考えます。

〈豊かな心・社会性〉

今一度、坂本小「五つの心得」を大事にして、学校全体で取り組んでいることで習慣づいています。いつでもどこでもあたりまえに実行できることが、本校児童一人ひとりの自慢となるように今後も大切にしていきたいと考えます。

〈学校の対応〉

定期的な生活アンケートおよび教育相談を実施しています。加えて、子どもと教職員の心のつながりを大切にしながら、アンケート実施の回数や教職員の見守り活動を強化して、いじめや問題行動等に対して、引き続き早期発見、早期対応、組織対応に心がけチーム坂本として取り組みます。